

記載例

届出書

笠岡

知事

平成22年〇月〇日

市区町村長 殿

フリガナ

サイシケンカ タロウ
再資源化 太郎

発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者) 印

(郵便番号714-xxxx)電話番号0865-〇〇-xxxx

住所 岡山県笠岡市△△-△△

(転居予定先) (郵便番号714-xxxx)電話番号0865-〇〇〇-xxxx

住所 岡山県笠岡市〇〇-〇〇

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

①工事の名称 ○〇住宅解体工事

②工事の場所 岡山県笠岡市△△-△△

③工事の種類及び規模

✓建築物に係る解体工事 用途 専用住宅、階数 2、工事対象床面積の合計100 m2

□建築物に係る新築又は増築の工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m2

□建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの

用途、階数、請負代金 万円

□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 万円

④請負・自主施工の別: ✓請負 □自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

フリガナ

マルバツカイトイ カイトイ ジロウ

①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) (株)〇×解体 解体 次郎

(郵便番号〇〇-xxxx)電話番0865-〇〇〇-xxxx

②住所 岡山県笠岡市〇〇-△△

③許可番号(登録番号)

□建設業の場合

建設業許可 □大臣 □知事(-) 号 (工事業)

主任技術者(監理技術者)氏名

✓解体工事業の場合

解体工事業登録 岡山県 知事〇×△□ 号

技術管理者氏名 笠岡 一郎

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日

(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

平成22年〇月△日

4. 分別解体等の計画等

- 建築物に係る解体工事については別表1
 - 建築物に係る新築工事等については別表2
 - 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
- により記載すること。

5. 工程の概要

別紙のとおり

(工事着手予定日) 平成22年△月〇日

(工事完了予定日) 平成23年△月〇日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)(注意)

1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

2 記名押印に代えて、署名することができる。

3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号

記載例

届出書

笠岡

知事

市区町村長 殿

平成22年 〇月 〇日

フリガナ

発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) マルバツジュウタク シンチクタク (株)〇×住宅 新築太郎

(郵便番号714-×××)電話番号 0865 〇〇〇〇 ××××

代表者印

住所 岡山県笠岡市〇〇-△△

(転居予定先) (郵便番号 -)電話番号 - -

住所 _____

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

①工事の名称 〇〇マンション新築工事

②工事の場所 岡山県笠岡市△△-△△

③工事の種類及び規模

建築物に係る解体工事 用途____、階数____、工事対象床面積の合計____m2

建築物に係る新築又は増築の工事 用途共同住宅、階数 13、工事対象床面積の合計 11,000.2

建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの

用途____、階数____、請負代金____万円

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金____万円

④請負・自主施工の別 請負 自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

フリガナ

①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) (株)〇×建設 解体 次郎

(郵便番号714-×××)電話番号 0865 〇〇〇 ××××

②住所 千葉県千葉市〇〇-△△

③許可番号(登録番号)

建設業の場合

建設業許可 岡山県 大臣 知事 般 20 〇×△ 号 建築 (工事業)

主任技術者(監理技術者)氏名 千葉 一郎

解体工事業の場合

解体工事業登録 _____ 知事 _____ 号

技術管理者氏名 _____

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日

(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

平成22年 〇月 〇日

4. 分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事については別表1
建築物に係る新築工事等については別表2
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
により記載すること。

5. 工程の概要

別紙のとおり

(工事着手予定日) 平成22年 〇月 〇日

(工事完了予定日) 平成23年 〇月 〇日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

- 1 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 記名押印に代えて、署名することができる。
- 3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号 _____



届出書

笠岡 知事
市区町村長 殿

平成**22**年○月○日

フリガナ
発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) **○×ガス(株) 設置太郎**
(郵便番号**714** - ×××) 電話番号 **0865** ○○○○ ××××



住所 **岡山県笠岡市△△-△△**
(転居予定先) (郵便番号 -) 電話番号 - -

住所 _____

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

①工事の名称 **ガス管設置工事**

②工事の場所 **岡山県笠岡市△△-△△**

③工事の種類及び規模

建築物に係る解体工事 用途 _____、階数 _____、工事対象床面積の合計 _____ m²

建築物に係る新築又は増築の工事 用途 _____、階数 _____、工事対象床面積の合計 _____ m²

建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの

用途 _____、階数 _____、請負代金 _____ 万円

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 **1.000** 万円

④請負・自主施工の別: 請負 自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

フリガナ

①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) **フルバツドボク (株)○×土木 解体 次郎**
(郵便番号○○○ ××) 電話番号○○○ - ○○○ ××××

②住所 **岡山県笠岡市○○-△△**

③許可番号(登録番号)

建設業の場合

建設業許可 **国土交通** 大臣 知事 **持 -20** ○×△ 号 (**土木** 工事業)

主任技術者(監理技術者)氏名 **笠岡 一郎**

解体工事業の場合

解体工事業登録 _____ 知事 _____ 号

技術管理者氏名 _____

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日

(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

平成**22**年○月△日

4. 分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事については別表1
建築物に係る新築工事等については別表2
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
により記載すること。

5. 工程の概要

別紙のとおり

(工事着手予定日) 平成**22**年△月○日

(工事完了予定日) 平成**23**年△月○日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)
(注意)

1 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

2 記名押印に代えて、署名することができる。

3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号 _____

記載例 ※木造の場合

- ・残存物品(フロン類使用機器)有りの場合
- ・特定建設資材への付着物有り(石棉吹付け、PCB含有シーリング)の場合

別表1

(A4)

建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

周辺にある施設の全てについてチェック

建築物の構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他()	
建築物の状況	築年数 <u>30</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他()	
建築物に関する調査の結果	周辺状況	例)・住宅地 ・農地 ・河川敷 ・搬出する前面道路の幅員
施設との距離を記入	敷地境界との最短距離 <u>約 1</u> m その他住宅密集地	
工事着手前に、建物内に残存物品がある場合は、該当する項目全てにチェック	建築物に関する調査の結果及び工事着手前に	工事着手前に実施する措置の内容
トランス、コンデンサー、蛍光灯安定器などが該当する場合があります	作業場所	隣地使用の承諾済、道路使用許可済
飛散性石棉とは ①発じん性が著しく高いもの: ・吹付け石棉 ②発じん性が高いもの: ・耐火被覆板(ケイカル板2種) ・断熱材(煙突、屋根折板) ・保温材 などが該当する	搬出経路	交通整理員の常駐を計画 搬出用に2トントラックを準備
非飛散性石棉とは 発じん性が比較的低いもの: ・スレート ・石棉含有岩綿吸音板 ・Pタイル ・ケイカル板(第1種) ・サイディング ・石綿セメント板 などが該当する	残存物品	1 隣地使用の承諾済、道路使用許可済 2 交通整理員の常駐を計画 搬出用に2トントラックを準備
	特定建設資材	3 労働安全衛生法及びび石棉障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石棉含有不明建材の場合は、事前調査で石棉の有無を明らかにするか、みなし石棉含有建材として処置する。
	その他	4 石綿撤去済み 5 石綿撤去完了予定日()月()日 6 労働安全衛生法及びび石棉障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石棉の有無を明らかにするか、みなし石棉含有建材として処置する。
	分別解体等の方法	7 その他
	作業内容	8 廃棄物処理法及びびPCB特別措置法に従い適正に処置する
	分別解体等の方法	
	建設設備・内装材等の取り外し	<input checked="" type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	屋根ふき材	<input checked="" type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	外装材・上部構造部分	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	基礎・基礎ぐい	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	その他の取り壊し	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	工事の工程の順序	<input checked="" type="checkbox"/> 上の工程における①→②→③→④の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()
	内装材に木材が含まれる場合	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 不可の場合の理由(建築物の構造上、取り外しができないため)
	建築物に用いられた建設資材の量の見込み	<u>40</u> トン
	廃棄物発生見込み	種類 量の見込み 発生が見込まれる部分(注)
	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 25 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
		<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生木材 10 トン <input checked="" type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤
		(注) ①建設設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他
	備考	

不十分な場合
例)
・隣地を借地
・立木を除去
・構造物の一部を除去し、作業場所を確保 など

例)
・道路使用許可
・通行止め
・搬出経路確保のため鉄板敷きを準備
・2トントラックにて搬出 など

飛散性石棉がある場合は、事前に撤去する必要がある

機械併用の場合には、その理由が必要

・瓦等が存在しない場合は、「無」
・機械併用の場合には、その理由が必要(作業に危険が伴う場合など)

その他の場合は、その理由が必要

不可の場合は、その理由が必要(石膏ボードと木材が密着しているため)

全て資材について記載する必要がある(下段の特定建設資材廃棄物の発生見込み量以上)

口欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。【 】欄には具体的品目を記す。数量については、四捨五入による整数表示。 2019年6月1日

記載例 ※新築の場合

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

分別解体等の計画等

新築の場合は空欄となります。

発生する特定建設資材廃棄物ではなく、使用する特定建設資材が対象となる

周辺にある施設の全てについてチェック

飛散性石綿とは
①発じん性が著しく高いもの:
・吹付け石綿
②発じん性が高いもの:
・耐火被覆板(ケイカル板2種)
・断熱材(煙突、屋根折板)
・保温材

修繕・模様替工事のみ

修繕・模様替工事のみ

非飛散性石綿とは
発じん性が比較的低いもの:
・スレート
・石綿含有岩綿吸音板
・Pタイル
・ケイカル板(第1種)
・サイディング
・石綿セメント板
などが該当する

不十分な場合
例)・隣地を借地
・立木の除去
・構造物の一部を除去し、作業場所を確保 など

例)・道路使用許可
・通行止め
・搬出経路確保のため鉄板敷きを準備
・2トラックにて搬出など

飛散性石綿がある場合は、事前に撤去する

新築・増築・修繕・模様替工事の場合は、特定建設資材が使用される部分をチェック

修繕・模様替工事の場合は、特定建設資材の発生が見込まれる部分をチェック

資材の種類	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 木材		
建築物の状況	築年数 〃年、棟数 〃棟 その他(周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input checked="" type="checkbox"/> その他(幼稚園)) 敷地境界との最短距離 約 2 m その他(国道沿い、交通量多い)		
建築物に関する調査の結果	建築物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	道路使用許可を取得	
搬出経路	障害物 <input checked="" type="checkbox"/> 有(未舗装) <input type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他(大型車交通可能)	敷鉄板設置により工事用道路の確保 交通整備員の常駐を計画	
特定建設資材への付着物(修繕・模様替工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 1又は2をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(ビニール床タイル等) → 1, 2又は3をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】 → 4に記入【 】	1 <input type="checkbox"/> 石綿撤去済み 2 <input type="checkbox"/> 石綿撤去完了予定日(月 日) 3 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 <small>※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。</small> 4 <input type="checkbox"/> その他	
その他(特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 1又は2をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板等) → 1, 2又は3をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】 → 4に記入【 】	()	
造成等の工事	造成等の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	作業内容	
基礎・基礎ぐいの工事	基礎・基礎ぐいの工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	仮設工事などその他の工事がある場合にはチェック	
上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
屋根の工事	屋根の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
その他の工事	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	20 トン	<input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
	<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	2 トン	<input checked="" type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生木材	10 トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥
(注) ①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他			
備考			

〇欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。【 】欄には具体的品目を記入すること。

数量については、四捨五入による整数表示

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()			
工事の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新築工事 <input type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> その他()			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建築 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材			
工作物の状況	築年数 年 その他()			
工作物に関する周辺状況	周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 3 m その他(県道上での工事、交通量多い)			
作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他(現道における工事)	工事着手前に実施する措置の内容 道路占用許可済、道路使用許可済 交通整備員の常駐を計画		
搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他(現道上的ため支障無し)			
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 1又は2をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(ビニール床タイル等) → 1, 2又は3をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】 → 4に記入	1石綿撤去済み 2石綿撤去完了予定日(月 日) 3労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に従い適正に処置する。 ※石綿含有不明建材の場合は、事前調査で石綿の有無を明らかにするか、みなし石綿含有建材として処置する。 4その他		
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置	その他(特定建設資材に付着していない、解体時に発生する有害物等) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 飛散性石綿(石綿吹付け、石綿保温材等) → 1又は2をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 非飛散性石綿※石綿含有不明建材を含む(スレート波板、スレートボード、スレート瓦、サイディング、ケイカル板等) → 1, 2又は3をチェック【 】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他【 】 → 4に記入			
工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)		
	仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	基礎工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	構造	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用		
工事の工程の順序 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)	300 トン			
廃棄物発生見込み量 (注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	10 トン	<input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	230 トン	<input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
備考	□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。【 】欄には具体的品目を記入すること。			

周辺にある施設の全てについてチェック

飛散性石綿とは
①発じん性が著しく高いもの:
・吹付け石綿
②発じん性が高いもの:
・耐火被覆板(ケイカル板2種)
・断熱材(煙突、屋根折板)
・保温材
などが該当する

解体・維持・修繕工事のみ
チェック

解体・維持・修繕工事のみ
チェック

非飛散性石綿とは
発じん性が比較的低いもの:
・スレート
・石綿含有岩綿吸音板
・Pタイル
・ケイカル板(第1種)
・サイディング
・石綿セメント板
などが該当する

例)・住宅地
・農地
・河川敷
・搬出する前面道路の幅員
・交通量の多少 など

不十分な場合
例)・隣地を借地
・立木の除去
・構造物の一部を除去し、作業場所を確保 など

例)・道路使用許可
・通行止め
・搬出経路確保のため鉄板敷きを準備
・2tトラックにて搬出など

飛散性石綿がある場合は、事前に撤去する必要がある

解体工事の場合には、分別解体等の方法についてもチェック

その他の工事がある場合にチェック

その他の場合は、その理由が必要

全ての資材について記載する必要がある(下段の特定建設資材廃棄物の発生見込み量以上)

数量については、四捨五入による整数表示